

茨城県ひたちなか市立勝倉小学校（学校長 鈴木 千津子）

| | | | |
|------|--|----------|---------------|
| 実施日 | 平成20年1月18日（金） | 時間 | 午前10時20分～午後1時 |
| 実施場所 | 体育館、国際理解室、図書室、図工室 | 対象/人数 | 1～6年生 390名 |
| 担当教諭 | 白土 恵美 | ファシリテーター | 小泉 和美 |
| 講師 | 田中 アルバ（ニカラグア） マックス・ホマーティング（アメリカ ALT） パーコフィ・エイキンス（ガーナ） 馬 晋（中国・留学生） | | |

活動内容

- ・校歌のプレゼント
- ・講師の各国紹介（あいさつ・文化・学校・食事・国の特長）
- ・合奏団からの演奏プレゼント「ブラジル」
- ・講師からみた日本の紹介（日本のよさ・ものや自然）
- ・ふれあい給食

児童の感想

- ・興味深いお話を聞かせてもらいました。ニカラグアの徹底的なりサイクルを日本も見習った方がいいなと思いました。
- ・たくさんのお話をしていただきました。ニカラグアのことや食べ物について、とてもよく分かりました。
- ・ガーナの子供たちのこと・遊びのこと・主食のことなど、教えていただきました。そのおかげで、私も家でゲームばかりしていないで、外でみんなと遊んだり、お母さんのお手伝いをしようと思いました。また、勝倉小学校に来て欲しいです。
- ・私は、アメリカについて詳しく教えていただきました。石油や小麦などがアメリカの有名な物だということ、家がとても大きく敷地が広いことを初めて知りました。それに、お話だけでなく、パソコンで画像も見せて下さったので分かりやすかったです。

先生の感想

- ・外国の生活がわかるもの（国旗・家族の写真・国の様子の写真・民族楽器など）を準備いただいたので、どの児童も興味を持って交流会に臨むことができました。どの講師の方もサービス精神あふれる盛で、子供たちの感心の持たせ方が上手でした。
- ・児童にとっては、ふだんあまり接することのない国々の方の文化や言葉にふれることができ、貴

重な体験となりました。四大陸から講師の方々を招いたことで、日本との違いに気付くとともに、日本文化のよさについて考えることができました。

成果と課題

- ・外国の方と直接触れ合うことで、日本とは異なる生活習慣や文化があることに気付くとともに、日本の文化のよさについても振り返ることのできるよい機会となった。
- ・言葉や文化のちがいはあっても、人に対する思いやりや環境に対する考えは通じる部分があることが分かり、地球規模でものごとを考えることにつながることができた。
- ・5・6年生は総合的な学習の時間で学年テーマにもとづき、事前に調べ学習を行い交流会に臨んだ。そのことが、交流会に参加する上で意欲を高めることにつながった。また、ジグソー学習形式を取り入れたことで、ひとりひとりが使命感をもって交流会に参加し、講師への質問も積極的になされていた。
- ・短い時間の中での交流となってしまう、十分な時間をとることができなかった。このような機会を継続していき、さらに内容を発展させて工夫していくことが必要である。

